

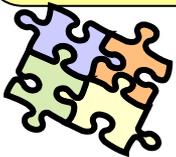
はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2011年1月1日発行

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

さて、12月17日に国の第3次男女共同参画基本計画が閣議決定されました。今後5年間の計画の中で特に早急に対応すべき課題として、実効性のある積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の推進、より多様な生き方を可能にする社会システムの実現、雇用・セーフティネットの再構築、そして推進体制の強化が挙げられています。四日市市も男女共同参画社会の実現に向けて頑張ります！！



三重大学主催の“大学改革シンポジウム”

「地域の活性化と男女共同参画の推進」に参加しました！

12月11日に、三重大学で、男女共同参画に取り組む多様な団体の情報共有と交流の場の提供と、連携・協働による地域の活性化を目指し、「大学改革シンポジウム」が開催されました。

【県内外 25 団体と三重大学によるブース展示】

午前10時から25団体と三重大学によるブース展示が始まりました。四日市市は、男女共同参画を推進する市民活動の拠点施設である男女共同参画センター「はもりあ四日市」の紹介と市民協働事業の紹介、ワーク・ライフ・バランスに関すること、そしてDVに関する取組についての展示を行いました。行政の展示だけでなく、三重県の「男女がいきいきと働いている企業」表彰受賞企業、市民グループ等の工夫を凝らした展示があり、たくさんのブースの前で活発な意見交換等が行われていました。



〈四日市市のブースの様子〉

【個性的なパネリストによるパネルディスカッション】

午後は、学長挨拶、文部科学省生涯学習政策局の板東局長による基調講演に続き、大学教授、製薬会社社長、有限会社社長等個性的なパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

- ・多様な人材で議論をすることは、それぞれの個性の視点、新しい世代の視点等が加わることとなり、非常によいことであるし、目的がしっかりしていれば男女の性別などまったく関係ない。
- ・大学は、世代や性別、役割(役職)を超えて議論ができる場であり、コミュニティの核になりうる。
- ・三重大学の男女共同参画の推進は、教員が「男女共同参画マインド」を持っているかどうかが鍵だ。
- ・男女共同参画は、特定の分野や人に関わるものではなく、すべての分野・部局・全員で関わりのあることである。総合行政としてとらえる必要がある。
- ・男女共同参画社会の実現のためには、機会(チャンス)を奪わないことが重要。

各パネリストから貴重な意見があり、あっという間の2時間でした。

「三重大学内の意思決定の場に女性がいない」と、パネリストから声をかけられた学長が「次年度1名女性の理事を入れる」とシンポジウム参加者の前で公約されました。ぜひ実現していただきたいと思います。

「協働の醍醐味は、異種・異質との出会い」

こういった機会を通じ、多種多様な人材がお互いに学びあい、つながっていくことが、男女共同参画社会の実現に近づく一歩だと実感しました。



〈パネルディスカッションの様子〉

3月1日から始まる「はもりあ週間」。グループの皆さんからワークショップの企画案や展示の応募をたくさんいただき、詳細が決まってきました。現在、チラシを作成中ですので、はもりあ週間の全貌については、もうしばらくお待ちください。

はもりあ週間のオープニングを飾る映画が決まりました！

リリィ、はちみつ色の秘密

とてもいい映画ですので、ぜひご覧ください。

【場所】 本町プラザ 1階ホール

【定員】 70名(先着申込順)

【受付開始】 2月10日(木)

【託児】 無料ですが、事前予約が必要です。

【内容】 14才の夏 - それはリリィにとって特別な夏だった。
14才のとき、自分の過ちで大好きな母を失ったリリィ。それから10年、心の傷にたった一人で耐え続けてきた彼女の胸には、いつも一つの大きな疑問が浮かんでいた。「母は私を本当に愛してくれていたの？」その答えをみつけるために、ある夏の日、リリィは旅立ちを決意する。



【申込み・お問い合わせ】 はもりあ四日市 (TEL 354-8331 FAX 354-8339)

デートDV防止講座

思春期を迎えるまでに伝えたいことを開催しました！

近年は、恋人間でもDVが見受けられ、「デートDV」とよばれています。このデートDVを正しく理解するため、NPO法人SEAN 副理事長の遠矢家永子(とおやかえこ)さんにご講演いただきました。

【ケンカとDVは全然違います！】

ケンカは、対等な関係で行うものです。DVには、主従関係や支配関係が存在し、「こころ」と「からだ」を傷つける人権侵害・犯罪です。また、交際相手を自分の所有物のように扱う、力で相手を言いなりにさせる、自分で決めることを許さない、これらは恋愛ではありません。

【メディアの情報がDVに与える影響に気づく】

メディアが発達してきている現在では、さまざまな媒体から情報を得ることができます。特に、子どもたちにとって身近な存在の漫画には、女性を対等な人格を持った人間としてではなく、性の対象物としてしか見ていないものや、暴力を容認する描写が書かれているものが多く存在します。

これらメディアがDVに与える影響は、少なくありません。

【子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために】

「男は強く、女をリードする」「女は優しく、男を立てる」のように、育ちの中で刷り込まれた性のことを「ジェンダー」といいます。このジェンダーの考えに基づく性別役割分担意識により、加害性・被害性がつくられ、DVがおこることがあります。子どもたちを被害者にも加害者にもしないためには、このジェンダーの視点を学ぶとともに、「安心」「信頼」「尊重」の関係と「支配」「管理」「所有」の関係の違いを見極める力を育むことが必要です。



<遠矢先生の講演会の様子>

世界の国の男女共同参画



韓国編

今回は、女性の政治参画拡大のため、積極的改善措置であるクオータ制を導入している韓国について紹介します。

【2000年 クオータ制導入】

韓国は、2000年に政党法の改正により、「政党は比例代表候補者の30%以上を女性に割り当てる」と規定しました。しかし、このときのクオータ制には罰則規定がなく、政党が守らなかったとしても何のペナルティも課せられません。また、単に女性の割合を30%以上とすればよいとしていたため、女性候補者が名簿の下位に集中した場合、クオータ制の目的である女性の国会への参画推進は果たせないものでした。結果として、2000年に実施された第16代選挙では比例代表46人中11人しか女性は当選せず、女性議員比率も23.4%にとどまりました。

【公職選挙法改正と政治資金法の改正】

2004年の公職選挙法改正で女性候補者の割合を50%以上に引き上げ、2005年の改正で、比例代表の候補者名簿の順位の奇数は女性とすることを義務付けました。また、政党が選挙区公認の30%に女性を割り当てた場合、国庫補助金が支給されるよう政治資金法が改正されました。これらにより、女性議員が2004年には56人中29人となり、2008年も54人中27人と50%を達成しています。

【女性議員比率の向上を目指して】

しかし、2004年、2008年の総国会議員数は、299人であり、比例代表で選出される議員は全体の2割に満たないため、選挙区選出と比例代表選出の議員を合わせると、2008年の総選挙後の女性議員比率はわずか13.7%となります。これは、選挙区における女性候補者数が少ないのと、当選者も少ないことが要因です。

(参考：日本は480人中54人で11.3%。第45回衆議院議員選挙2009年8月実施)

現在、韓国では、国庫補助金の10%を女性政治家育成のために使い、女性候補者の育成に努めています。

今月のおすすめ本

今月は、元気が出るような、表紙がピンクの本を2冊紹介します。この2冊は、「はもりあ」で貸出できます。



challenge!!

37歳で現役復帰を果たした伊達公子選手が、再チャレンジの理由、家族、青春時代、夫との出会い、不妊治療と挫折などを語った本です。夫のマイク氏は、テニスへ再チャレンジする伊達選手に「やれる環境があるなら、やらない理由はない。家事なんてどうでもいい。家事ができていないのは2人の責任」と本気で応援してくれる人。“挑戦に年齢制限はない。やりたいことは、いつからでも始められる”と背中を押してくれる本です。



怒らない技術

10月～11月に実施したさんかくカレッジ「働く女性のための未来計画&セルフマネジメント講座」の講師さんからご紹介いただいた本です。

著者は、“怒らない”と決めたことをきっかけに、起業家として成功し、現在はシンガポールを拠点に“教育者”として活躍しています。

この本には、考え方を換えれば、自分で自分の“心”や“感情”をコントロールすることができることなどが書かれています。

今月のキーワード

どういつか ちろうどうどういつちんぎん
同一価値労働同一賃金

日本には、職業を選ぶ際、男性に向く仕事、女性に向く仕事という思い込みがあり、男性の割合が多い医師や消防士といった職種の賃金は高く、保育士や介護職といった女性が多く担ってきた職種の賃金は低い傾向があります。

同一価値労働同一賃金とは、職種が違っていても、責任や知識・技術、肉体的・精神的な負荷など、労働の質が同等であれば同等の賃金を支払うということです。

「同一価値の労働についての男女労働者に対する同一報酬に関する条約」(ILO100号条約)を日本は1967年に批准していますが、現在も日本の女性正社員の賃金水準は男性正社員の66%程度で、男女間の格差は依然として大きく、格差が30%以上ある国は世界でも少数です。

こうした日本の現状に対し、国際労働機関(ILO)からは、男女間の賃金格差をなくすために、法改正を含めた努力を行うよう、勧告等が行われています。



登録グループイベント情報

- 1月13日(木) 『初めての人も！親子で絵本とランチを楽しもう』
おはなし大好き、かえるのハロルドくんと一緒に絵本を楽しみましょう。その後は旬の野菜
いっぱいヘルシーランチがありますよ！定員20組。予約お待ちしております!!
時 11:20～ 所 四日市まんなか子ども劇場 費 900円(子ども100円)+居場所料300円
問 四日市まんなか子ども劇場 (TEL/FAX351-6670)
- 1月23日(日) 『男のスイーツ デコレーションケーキ』
ホワイトデーには、手作りスイーツでお返しというのはいかが？初めてでも楽しくご参加
いただけます。プロの味をご家庭で！講師はアトリエ・オランジェの小林史明さんです。
時 9:30～、13:00～ 所 常磐地区市民センター 費 1,500円
定 午前・午後各10名 対 常磐地区在住の男性
問・申 常磐男女共同参画をすすめる会 島原 (TEL352-2098・18時以降にご連絡下さい)
- 2月6日(日) 薬を使わない精神科医みやじち先生の『メンタルセラピー』
パニック、うつ、統合...メンタルに苦しむ人、支えたい人、ちょっと疲れている人へ。人間
関係を楽にし、健康回復、幸せ増進をサポートする講演です。講師は宮島賢也先生です。
時 13:30～16:00 費 前売2,500円 当日3,000円 所 本町プラザ6階第4会議室
問・申 虹のしっぽ 桜井 (TEL353-4417)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介します。今回はシューフルールさんです。

シューフルール

代表 小松 佳代 会員数 6名
連絡先 080-5132-3565

ハンドメイドをこよなく愛するママサークルです。最初は子育て中のリフレッシュにと始めたハンドメイドが、周りの人々に喜んでもらえることを重ねるたびに、もっと多くの方に役立てればと思うようになりました。

ハンドメイドを通じて、性別、世代を超えてたくさんの方に関わりたいです。子育て世代が社会と接点を持てるイベント企画が出来ればと夢を膨らませています。ママ目線でのんびりゆっくり活動を繰り広げていきたいと思っています。応援よろしくをお願いします。



1月30日(日) 鈴鹿市のジェフリーふえすた2010のご案内

三重県内には当センターを含めて4つの男女共同参画センターがあり、男女共同参画社会の実現に向けて4センターは連携して活動しています。30日に鈴鹿市男女共同参画センターで“ジェフリーふえすた”が開催されます。展示やワークショップ、講演会等がありますので、ぜひご参加ください。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F
TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>